

昭和十六年十一月十九日
達第三百五十一號

● 海兵團練習部規則

改正 昭和十七年第二四二號、一九年第三號、第八九號、第一七四號、第二一〇號
海兵團練習部規則左ノ通改正ス

海兵團練習部規則

第一條

海兵團長ハ教務規程ヲ設ケ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ實施スベシ但シ鎮守府司令長官ハ之ヲ認可スルニ先チ海軍大臣ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第二條

各海兵團練習部ハ左ノ各號ニ依リ海兵團練習部令第一條第二項及第四項ニ規定スル事項ヲ分擔スベシ

一 新兵（軍樂兵及海軍特別志願兵タル新兵ヲ除ク）ノ教育

八 武山海兵團練習部、濱名海兵團練習部、大湊海兵團練習部、大竹海兵團練習部、安浦海兵團練習部、大阪海兵團練習部、相浦海兵團練習部、針尾海兵團練習部、舞鶴海兵團練習部及平海兵團練習部

三 其ノ他ノ教育ハ特ニ規定スルモノノ外横須賀海兵團練習部、吳海兵團練習部、佐世保海兵團練習部及舞鶴海兵團練習部

第三條

海兵團長ハ各教育ノ終業期ニ於テ教官ヲ會同シ教育ノ

經過、成績、進歩其ノ他關係事項ヲ考查シ之ガ記錄ヲ整理保存スベシ

第四條

海兵團長ハ新兵、准士官學生、軍樂術練習生、豫備練習生又ハ豫備補習生ノ終業期ニ於テ其ノ修業成績ニ意見其ノ又ハ警備府司令長官ニ報告スベシ准士官學生修業報告ニ對シテハ鎮守府司令長官ハ更ニ意見ヲ附シ之ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

第五條

新兵、准士官學生及軍樂術練習生ノ修業期間ヲ左ノ如ク種別ス但シ時宜ニ依リ多少伸縮セシムルコトアルベシ

新兵又ハ練習生ノ修業又ハ卒業成績順序ハ何人中ノ何番ナル字句ヲ用ヒ之ヲ本人ノ考課調査表ニ記入スベシ

新兵

志願兵 六月以内

徵兵 五月以内

特別志願兵 六月以内

徵兵 五月以内

准士官學生

兵

飛

行

科

備

科

工

機

關

作

科

整

備

科

六

月

以

內

六

月

以

內

四

月

以

內

四

月

半

以

內

一

年

以

內

一

年

以

內

第六條 海兵團長ハ新兵ニシテ疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修業期間内ニ教程ヲ終ヘザル者アルトキハ適宜其ノ修業期間ヲ延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ報告スベシ

第七條 鎮守府司令長官ハ新ニ進級シタル在籍ノ各科准士官（選修學生及同教程修了者ヲ除ク）ニ學生ヲ命ズベシ

第八條 任務其ノ他特別ノ事情ニ因リ進級直後准士官學生タルコト能ハザル者アルトキハ所轄長ハ事由ヲ具シ速ニ在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告スベシ

第九條 准士官學生ハ海兵團内ニ起臥セシム

第十條 海兵團長ハ准士官學生ニシテ疾病其ノ他ノ事故ニ因リ同期學生ト共ニ修業セシムルコト能ハザル者アルトキハ鎮守府司令長官ノ認許ヲ受ケ之ヲ次期學生ニ編入スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍人事部長ニ通報スベシ

第十一條 海兵團練習部ニ於テ教育スル軍樂術練習生ヲ普通科軍樂術練習生、高等科軍樂術練習生及特修科軍樂術練習生トス

第十二條 普通科軍樂術練習生ハ新兵教程ヲ經テ新ニ進級シタル海軍樂隊ニ於テ之ヲ實施スルモノトス

第十三條 橫須賀海兵團長ハ普通科軍樂術練習生ヲ命ジタルトル海軍一等軍樂兵ニ就キ横須賀海兵團長之ヲ命ズベシ

第十四條 高等科軍樂術練習生ハ海軍一、二等軍樂兵曹又ハ海軍軍樂兵長、軍樂上等兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨ

リ之ヲ選拔ス

一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 技術優秀且音樂上ノ理論ヲ修ムルニ適當ニシテ將來管樂、絃樂ノ教員ニ充テ又ハ各種奏樂指揮ノ職ヲ執ラシムルニ適スト認ムル者

三 普通科軍樂術練習生教程ヲ卒業シ其ノ特技章ヲ有スル者

第十五條 特修科軍樂術練習生ハ左ノ各號ニ該當シ且將來一隊

ヲ指揮統制スルニ適スト認ムル者ノ中ヨリ之ヲ選拔ス

一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 技術優秀且作曲理論等ニ對シ發展性大ニシテ將來幹部トシテ教育指導者タルニ適スト認ムル者

三 高等科軍樂術練習生教程ヲ卒業シ其ノ特技章ヲ有スル者

修科軍樂術練習生ノ出入期日ヲ豫定シ毎年二月末日迄ニ之ヲ

海軍大臣ニ報告スベシ

第十八條 高等科軍樂術練習生及特修科軍樂術練習生ヲ採用スルニハ横須賀鎮守府司令長官ハ其ノ候補者選出期限ヲ定メ艦

船部隊長ヲシテ練習生志願者ニ就キ身體検査ヲ行ヒ第十四條又ハ第十五條ニ該當スル者ヲ選拔シ所見表(別表)ヲ添ヘ選出期限内ニ横須賀海兵團長ニ通知セシムベシ

又ハ第十五條ニ該當スル者ヲ選拔シ所見表(別表)ヲ添ヘ選出期限内ニ横須賀海兵團長ニ通知セシムベシ

又ハ第十五條ニ該當スル者ヲ選拔シ所見表(別表)ヲ添ヘ選出期限内ニ横須賀鎮守府司令長官ニ報告スベシ

一 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者
二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

三 勤務怠慢品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者
四 前各號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第二十條 横須賀海兵團長ハ前條第一號又ハ第四號ニ該當スル

高等科軍樂術練習生又ハ特修科軍樂術練習生ヲ免ジタル場合

ニ於テ入團後十日以内ナルトキハ横須賀鎮守府司令長官ニ補

缺採用ノ手續ヲ請求スルコトヲ得

第二十一條 横須賀海兵團長ハ横須賀鎮守府司令長官ノ認可ヲ

受ケ高等科軍樂術練習生及特修科軍樂術練習生ヲ官立音樂學

校ニ委託シ修業セシムルコトヲ得

第二十二條 横須賀海兵團長ハ普通科軍樂術練習生ニシテ疾病

其ノ他ノ事故ニ因リ修業期間内ニ教程ヲ終ヘザル者アルトキ

ハ適宜其ノ修業期間ヲ延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之

ヲ横須賀鎮守府司令長官ニ報告スベシ

第二十三條 横須賀海兵團長ハ高等科軍樂術練習生及特修科軍

樂術練習生中第十九條ノ規定ニ該當スルコトナク同期ノ練習

生ト共ニ卒業セシムルコト能ハザル者アルトキハ之ヲ次期練

習生卒業期迄ノ範圍ニ於テ適宜其ノ修業期間ヲ延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ横須賀鎮守府司令長官ニ報告スルト共ニ横須賀海軍人事部長ニ通報スベシ

第二十四條 所轄長ハ海軍特修兵令第六條ノ規定ニ依リ特技章

ヲ褫奪シタルトキハ之ヲ横須賀鎮守府司令長官ニ報告シ横須賀海兵團長ニ通報スベシ

附 則

本達ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本達施行ノ際現ニ修業中ノ左ノ上欄ニ掲タルモノハ夫々之ヲ本達ニ依ル其ノ相當下欄ノ練習生トス

軍樂術補習生	普通科軍樂術練習生
特修科軍樂術練習生	高等科軍樂術練習生
軍樂術特修兵ニシテ官立音樂學校ニ委託修業者	特修科軍樂術練習生
軍樂術特修兵中官立音樂學校ニ委託修業者	特修科軍樂術練習生

附則第二第三項ハ昭和十六年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附 則（昭和十九年達第二百十號）

本達ハ昭和十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

別表
(所見ハ海軍考課表規則ニ準ジ記入ス)

(門長艦軍)		名轄所	表見所者補候生習練(衛樂軍科等高)期(八二)第					
所 轄 見 長	所 科 見 長	分 隊 長 職 務 所見	成 試 績 驗	日 勤 數 務	及卒 其業 ノ年月 成績日	身 體 印 科 檢 士 查 官 軍 探 (^甲)	順選 序拔	
昭和 年 月 日		總人 評物	務 勤 (評語ヲ以テ記入ス)		(左例ノ如ク記入ス 一三期 3 50)	身長	(入ス 10 ノ如ク記 志望 者數)	
		性 行	成檢 績定	現役 年月日 滿期	ル進級 年月日 現官職 シタニ	順志 序望	年氏官 齡名職	
		技能	置 現 配	賞罰	停進任 年級用	志 回數	(ノ年齡ニ 月ノハニヘ 前特ニ振 月指假名ヲ 末迄シタル モノノ外入 校記入ス)	
(艦 長	(航海 長	(學術、 技藝、武 技、體 技其ノ他 (^乙)	(現 アル トキ ハ其 ノ適任 ト認ム ル配 置)	(罰 ハ朱 書ス)		(ル當 回數期 ヲ記入 算入 シタ)	學前ノ籍 入籍 番號	
		某(^甲)	某(^乙)				記ノ中高 入如三卒、 スク修	

●四等看護兵海兵團ニテ教育實施ノ

件

昭和十三年十月三十一日
官房第五四五七號

自今四、等看護兵ニ對シテハ海兵團練習部規則第十七條ノ規定ニ拘ラズ入團後約六週間海兵團ニ於テ教育ヲ實施スルコトヲ得

●練習兵教育ニ關スル件

昭和十七年九月三日
教育第一七號ノ八七

(海軍省人事局、教育長宛
ヨリ各鎮守府參謀長宛)

練習兵教育ニ關スル件申進

首題ニ關シ海兵團練習部規則第五條ノ規定ニ拘ラズ當分左記ノ
通定メラレ候

記

一 修業期間 約一年

二 被教育兵種

年齢十五年以上十六未満ノ者ヨリ採用セル水兵(水中測的
兵及電信兵ヲ除ク)、整備兵、機關兵、工作兵、看護兵及主計兵

第二類 官制 海兵團